

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2025No.383】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨハネス・ブラームス

曲名：交響曲第1番ハ短調 op. 68

演奏：ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56313>

2025年8月30日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



2025/26年シーズン開幕演奏会

ペトレンコがブラームス、ツィンマーマン、シューマンを指揮

長年の試行錯誤の末に完成したブラームスの交響曲第1番は、重厚でありながらも内面に情熱を湛え、後期ロマン派を代表する交響曲とされます。ブラームスはこの作品で、同時代の最も優れた交響曲作曲家としての地位を確立しました。首席指揮者キリル・ペトレンコとベルリンフィルは、当交響曲で新シーズンの幕開けを飾ります。冒頭に演奏されるのは、シューマンの情熱的な《マンフレッド》序曲。B・A・ツィンマーマンのオーボエ協奏曲では、高度な技術を要する独奏パートをベルリン・フィルのソロ・オーボエ奏者、アルブレヒト・マイヤーが務め、プログラムに鮮明な音楽的コントラストをもたらします。

以上の他に下記が演奏されました。

ローベルト・シューマン 《マンフレッド》序曲 op. 115

ベルント・アロイス・ツィンマーマン、オーボエ協奏曲

アルブレヒト・マイヤー(オーボエ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

カンタータ第 21 番《わがうちに憂いは満ちぬ》よりシンフォニア
アルブレヒト・マイヤー(オーボエ)

シューマンの《マンフレッド》序曲はロマン派らしい勢いのある演奏です。

ツィンマーマンのオーボエ協奏曲は、現代曲のようでオーボエ首席奏者のマイヤーの技巧がさえています。

アンコール曲は、次の曲で、マイヤーのオーボエが、ツィンマーマンのオーボエ協奏曲とうってかわってしっとりと聴かせてくれました。

ヨハン・セバスティアン・バッハ

カンタータ第 21 番《わがうちに憂いは満ちぬ》よりシンフォニア
メインプログラムのブラームスの交響曲第 1 番は、お馴染みの曲で、第 1 楽章の重厚な出だしから、終章の総奏までベルリンフィルの緻密な構成の演奏で、2025/26 年シーズン開幕演奏会を飾りました。

LAN 受信経路に LAN iPurifier Pro が加わり、PC から GPS クロックを入れた Brooklyn DAC+への送り出しをすることにより、ベルリンフィルの緻密な演奏が聴けました。



以上